

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	低炭素化に向けた事業者連携型モデル事業		担当部局庁	総合環境政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成25年度		担当課室	環境計画課		加藤 庸之		
会計区分	エネルギー対策特別会計 エネルギー需給勘定		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	エネルギー対策特別会計法 第85条第3項第1号ハ 施行令第50条第7項第8号		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	温室効果ガスの削減対策を推進するため、複数の事業者間の連携による低炭素化に向けたモデル的な取組を実施し、温室効果ガス25%削減の実効性を検証する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	1990年比で二酸化炭素排出量を25%削減するために、以下の事業を行う。 補助事業(民間事業者へ事業費の1/2を補助) 技術的に確立されているもので、①削減効果が確認されている対策の共同導入、②既存設備の能力の最大限活用、③相互連携システム構築の組合せにより、複数の事業者間で連携して実施することにより、単体対策として実施するよりも削減効果や費用対効果が高くなり、温室効果ガス25%削減目標を達成できる事業を実施するもの。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	-	-	-	1800	500	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	1800	500	
	執行額		-	-	-			
執行率(%)		-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
	設備導入による年間のCO2削減量		成果実績 t-CO2/年	-	-	-	36,000	
			達成度 %	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	事業の箇所数		活動実績 (当初見込み) 箇所	-	-	-	(4)	
単位当たり コスト	68.5(百万円/事業箇所数) 平成23年度見込額		算出根拠	総事業費:274百万円 事業箇所数:4				
平成23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目(単位:百万円)	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	二酸化炭素排出抑制 対策事業費等補助金	1,800	500					
	計	1,800	500					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
<p>事業内容の精査・見直しを行い、必要最低限の支出となるように検討を進めるべき。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の
金額が支出されている者につ
いて記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					